

防災教育や防災知識の普及

霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する
減災対策協議会

○小学生を対象とした防災教育の実施

- 目的：地域の災害リスクや防災の取り組みへの理解を深め、自然災害から命を守るために必要な心構え・知識・判断力・行動力等の知識を養う
 - 実施日：平成29年10月17日(水)～11月17日(金)(10時間)
 - 実施場所：稲敷市立あずま東小学校
- ※ 国土交通省と教育委員会や小学校の先生などが**共同で作成した教材**を用いて授業を実施しました。

茨城県
初!!

授業の様子

霞ヶ浦を題材とした過去の被災の写真も登場



流水実験の様子 (10月26日)

流れる水のはたらきと波の作用を学習



波浪実験の様子 (10月30日)



公開授業の様子 (11月15日)

市内の小中学校への普及を目的に公開授業を開催



●子供達の感想●

- ・自分の住む場所はなんとなく大丈夫だと思っていたが、浸水の可能性があることがわかったので家族にも伝えたい
- ・水の被害は怖いと思った
- ・食料や水、ラジオを持って行き水害に備えたい など

○他校の先生の感想○

- ・関係機関との連携により、よりよい授業を提供できることは、子どもたちにとってプラスになっていると感じました
- ・自分が避難する場所や経路を明確にさせることが大切であると思いました など